みんなの「生きる」を
社会福祉法人

第125号

慈　光

社会福祉法人遠州仏教積善会

救護施設　慈　照　園

静岡県浜松市中区鴨江３丁目４番３号
ＴＥＬ　０５３－４５２－３０６９
ＦＡＸ　０５３－４５２－３０７４
ＵＲＬ　http://jishoen.jp

「法人創立１１１周年　過去から未来へ」

社会福祉法人　遠州仏教積善会
会長　左右田　泰丈

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年１２月、「今年の漢字」として「戦」が選ばれました。サッカーワールドカップでの日本代表選手や冬の北京オリンピックでの選手の熱き「戦い」、円安物価高など生活の中での「戦い」、そして、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻など「戦争」を意識した年であったことから選ばれたようです。

スポーツなどの平和な「戦い」は望むもの。戦争などの無益な「戦い」は望まぬもの。「穏やかな日常でありたい。」誰しもが願うこの願いは、古今東西共通の思いであるはずです。

慈照園で毎月１８日に行われる観音供養では、「平穏な世界であるよう」に祈念しています。

さて、慈照園では、昨年２、８、１１月に、ご利用者や職員にコロナウイルス感染症が発生しました。いずれも隔離等感染拡大防止策により、爆発的な拡大とならずに終息できました。これも、日常での感染対策や備品等の準備、改築による個室の整備、ゾーニング等の訓練、職員同士の連携の成果と言えます。

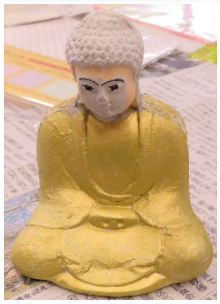
また、昨年５か月間に渡り第１期改築工事を行い、地域移行推進や感染症災害対応に有効な環境に整備することができました。早速その効果を実感しています。

さらに、今年は第２期工事として、西側に鉄筋コンクリート３階建ての園舎を増築し、感染対策や個別支援に役立つ居室静養室、地域で暮らす生活困窮者支援の通所事業の拠点、職員増員に対応したスタッフルーム等の環境整備充実に取り組みます。１月より着工し、８月に完工の予定です。工事の際には、近隣の皆様にもご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

法人創立１１１周年の今年、過去をふまえて未来に向けて、これからも、地域共生社会の一員として、救護施設慈照園のサービス向上に取り組んでまいります。

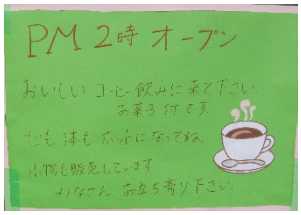
皆さま方のご健康とご多幸をお祈りします。

ミニ大仏　ワークショップ　in　慈照園　～令和4年11月19日～
諸縁再興、疾病鎮静の想いを込めて作製しました。
令和5年1月～2月、北海道で大仏の一部になります。



救護施設先駆的実践シェア事業

赤い羽根福祉基金



「齋藤直美さんのおいしいコーヒー入れ方教室」を行いました。

地域とのつながりをつくるために、集いの場を設けました。慈照園利用者、退園者、近隣住民、民生委員、利用者ご家族、元職員をはじめ、たくさんの方にお越しいただきました。

当日は、農園の野菜、手作りはがき、手芸サークルが刺繍したポーチの販売も行いました。貴重な地域交流の機会となりました。

退園者をお招きして交流会を開催しました

地域移行を目指しているご利用者にとって、身近な退園者のお話はリアルで参考になるものでした。

「悩みや不安がある時はどのように対処していますか？」という質問には、「通所先や慈照園の職員に相談します。」との答えでした。仕事、食事、お金、今後の目標など、一つ一つ丁寧に答えていただきました。皆さん、それぞれ地域で充実した生活を送っていらっしゃいました。

どんな仕事をしているかな？

職場見学のため、京丸園さんにお邪魔しました。就労に向けて、体調管理には十分気をつけましょう。

３年ぶり！浜松市救護施設親睦スポーツ大会♪

規模を縮小しての開催でした。
久しぶりに、他施設の皆さんと一緒に体を動かすことができました。
堂々の総合２位！
練習の成果がでました。

日本平動物園、
芹沢銈介美術館へ

日々の暮らし

クラブ活動の様子　～手芸・ヨーガ・将棋・アニマルセラピー～

園内カラオケ大会

由起子さんが優勝しました！

　体調管理に気をつけ、
やり方を工夫しながら、
施設活動は少しずつ、再開しています。
　今年も、地域の皆さまと、
救護施設の仲間と、交流できる機会を楽しみにしています。

写真・氏名は本人の同意の上掲載しています。

こだま

愛恵保育園の歩みの中で

社会福祉法人　浜松乳幼児福祉会
愛恵保育園　園長　鈴井浩子

愛恵保育園は昭和４３年３歳未満児専門の保育園として今の場所に開園し、昭和５２年からは生後２か月から就学前迄のお子さんをお預かりする保育園として地域の方に見守られながら、創立５４年目の歩みを進めています。令和元年には２度目の園舎改築をし、木のぬくもりを感じる園舎の中で、「子ども一人ひとりを心身ともに丁寧に育てていこう」との設立当初からの願いを引き継いで、０・１歳児は決まった保育士がお世話をする担当制の保育で愛着関係をしっかり築きます。そして少しずつ子ども同士の関わりが広がり、新しいことに挑戦していきますので、主体的に自分から遊びに向かえるように各部屋には様々な遊びのコーナーがあり、保育者が見守る中、友だちと一緒にじっくりと遊んでいます。年中・年長クラスは地域の施設との交流もあり、慈照園さんとも長いお付き合いで、コロナ禍以前は散歩に出掛けたり、ゲームをしたり楽しいを共有していました。様々な人との関わりは子どもたちの豊かな心の成長には大切なことです。１日も早く日常の生活が戻る事を願っています。

お世話になっています

～ボランティア～

ヨーガクラブ　山内亜紀子　様
アニマルセラピー　(N)日本アニマルセラピー協会浜松本部　様
絵手紙クラブ　鈴木八重子　様

あ り が と う

金一封　鴨江北町自治会、匿名　様
ガウン、マスク　匿名　様
活命茶　トクダ薬局　様
絵手紙用品　飯田いく子　様
みかん　鈴木祐一様、匿名　様
ろうそく　西泉寺　様

観音様の日

毎月十八日は、観音様のご縁日です。
導師様にご供養と法話をいただきました。

九月	随縁寺	鶴見　勝円	様
十月	大厳寺	木全　哲之	様
十一月	瑞生寺	左右田泰丈	様
十二月	大厳寺	木全　学之	様

苦情解決状況　令和4年 7 月～12 月

	所属	内　容	てんまつ
男性	利用者	申出人より、以前、嗜好品にて体調不良に繋がる行動をしてしまったが、行動を改めるので行事に参加したいと要望あり。	苦情受付担当者より、担当指導員に説明し、今後、申出人の希望を考慮して、行事に参加してもらうこととなった。
女性	利用者	申出人より、苦情受付担当者へ生活相談会を受けたいとの要望あり、生活相談会を受けることとなった。	生活相談会で第三者委員に話を聴いていただいた。体調、健康面について助言をいただいた。
男性	利用者	同室者との関わりの状況により、苦情受付担当者より、生活相談会を受けることを勧め、受けることとなった。	生活相談会で第三者委員に話を聴いていただいた。本人より、２点相談し、要望を伝え、助言をいただいた。
女性	利用者	ルールや法律を守ることなど規範について、アドバイスや指導を受ける場として生活相談会を受けることとなった。	生活相談会にて第三者委員に、今までの生活上のことや園内で気になる点について聴いていただいた。また、ルールについての助言をいただいた。
男性	利用者	苦情受付担当者より、精神的に不調がみられるため、状態が上向くよう生活相談会を勧め、受けることとなった。	生活相談会で、第三者委員に、家族関係や将来の生活など聴いていただいた。融通無碍の気持で生きていくよう助言をいただいた。

12／21 現在　要望：1件、生活について：4件（5件解決）